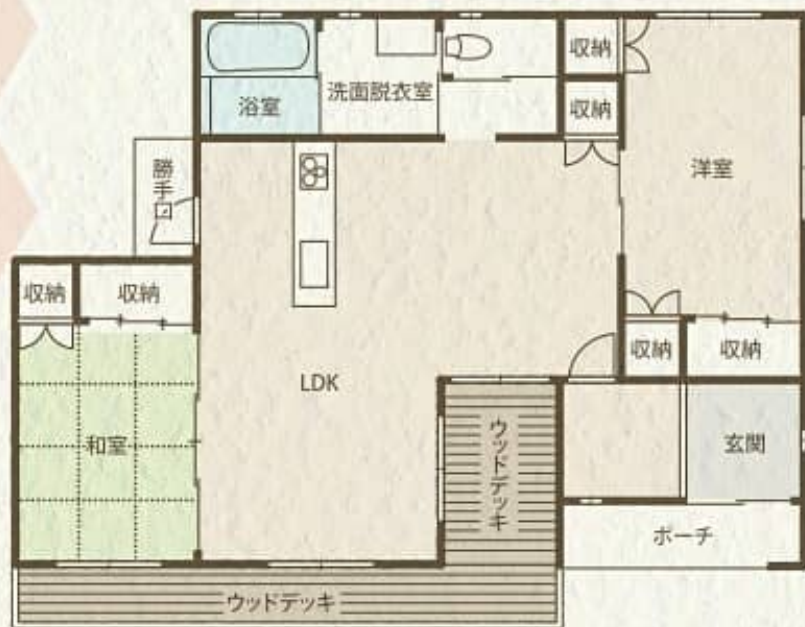


家のコト。

ie no koto



全ての居室をつなぐ 家の中心のLDK

約27坪の平屋で半分近くをしめる11坪のLDK。家の中心にLDKを配置し、すべての居室と水廻りを、広々としたLDKとひとつながりにすることで、廊下のない使い勝手のよい間取りとなっています。そのLDKにはキャットウォークや備え付けの造作棚、キッチン横はアクセントにタイルを張った見どころ満載の空間です。

縁側の役割をはたす 広々ウッドデッキ

南面にはLDKと和室に面して広いウッドデッキをとっています。外部という感覚ではなく、家の内部の一部屋、和風建築に多く用いられてきた縁側に近い感覚で使用する予定です。日当たりも非常に良いので、洗濯物を乾かしたり、庭を眺めながらひなたぼっこをしたりと自由な時間と空間を提供する場所です。



丈夫で長持ち タイル外壁の魅力

外壁にはLIXILのベルニューズというタイルの暖色系の色を使用しています。タイルは紫外線に非常に強く、30年、40年、50年と年月がたっても色あせにくいという実験結果がでています。一般の外壁に比べ、初期投資に費用はかかりますが、有機系塗装外壁は約10年に一回メンテナンスが必要で、その費用が1回約100万円かかることを考えると、タイルのほうがライフサイクルコストを抑えることができます。

木とタイルが調和する おもてなしの玄関

玄関は日当たりのよい南東方面に配置し、お施主様によるオーダーメイドの靴箱を設えています。ホールには白川建設が自信をもって選んだ、杉の化粧柱を配置し、重厚感のある空間に仕上げています。玄関のタイルも色々とし、六角形のタイル(キングウッド平田タイル)を使用することで、全体の雰囲気にあったデザインとなっています。

